

市町村名	那覇市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-3	バス停上屋整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ		
担当部署名	都市みらい部 道路建設課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人にやさしい交通手段の確保	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、観光客が多く利用する大型商業施設付近のバス停上屋(メインプレス東口(下):1基)を整備する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	24,028	-	16,014	-	
		(b)予算現額	32,028	-	18,615	-	
		(c)増減額(b-a)	8,000	-	2,601	-	0
		(d)繰越額	-	19,298	-	18,615	
		A.計(b+d)	32,028	19,298	18,615	18,615	0
	B.執行済額		12,730	19,125	0	18,615	
	うち交付金充当額		10,184	15,300	0	14,892	
	次年度繰越額		19,298	0	18,615	0	
	執行率(%) (B/A)		39.7%	99.1%	0.0%	100.0%	#DIV/0!
	予算の状況の説明		・整備工事について応札者がなく不調となり、その結果を踏まえた設計変更の不測の日数を要し、年度内の完了が困難となったことから、18,615千円を繰り越した。 ・入札不調対策として、令和2年度現年予算と合わせて2基発注し予算執行することができた。				
	活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
バス停上屋の設置工事 :1基(設置箇所:メインプレス東口(下))		目標	(2基)	(1基)	()	()	
		実績	2基	1基			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	整備工事について、令和2年度現年予算と合併発注し令和2年12月にバス停上屋(R1年度繰越予算でメインプレス東口(下):1基)と(R2年度現年予算でおもろまち1丁目(下):1基)を設置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(8割以上)	(8割以上)	()	()
		実績		9割	9割		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	利用者の満足度については、バス停利用者に対し、設置箇所にて聞き取りアンケートによる満足度調査を実施し、「良かった」との回答を9割得られ、成果目標を達成した。					

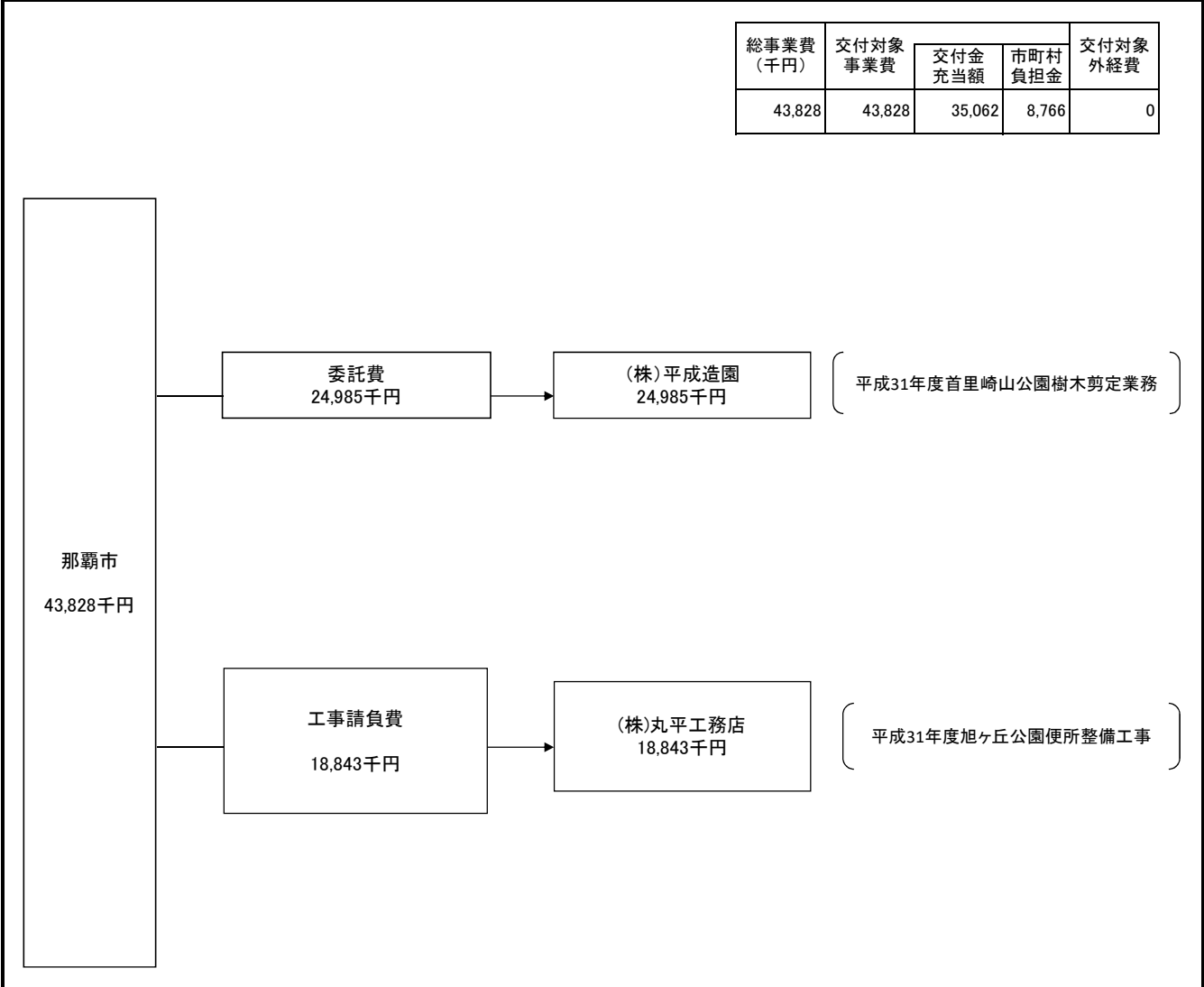
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光客が多く利用する大型商業施設付近のバス停上屋を整備したことにより、日差しや雨風を防ぐことができたため、成果目標を達成できたと考えられる。 ・遠くから見てすぐバス停と分かるから良いという意見もあった。	・今後もバス停位置が分かりやすいように設置していきたい。
今後の取り組み方針		
・令和3年度は、真嘉比小学校前(下)と商業高校前(上)において新たに2基のバス停上屋を整備する予定である。引き続き観光客が快適に利用できるよう整備を進めて行く。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>18,615</td><td>18,615</td><td>14,892</td><td>3,723</td><td>0</td></tr></table> 那覇市 36,008千円 (内R1繰越18,615千円) (内R2現年17,393千円) 完了検査手数料 28千円 (内R1繰越14千円) (内R2現年14千円) 那覇市 28 千円 (内R1繰越14千円) (内R2現年14千円) 完了検査手数料 28千円/2基 工事請負費 35,980千円 (内R1繰越18,601千円) (内R2現年17,379千円) 琉南建設(株) 35,980千円 (内R1繰越18,601千円) (内R2現年17,379千円) 令和2年度 バス停上屋設置工事 (内R1繰越→メインプレス東口(下)) (内R2現年→おもろまち1丁目(下))					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	18,615	18,615	14,892	3,723	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
18,615	18,615	14,892	3,723	0										
資金の 使途の 流れの 点検 ・ 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の 使途の 流れの 点検 ・ 評価 ・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負費の執行にあたっては、令和2年度現年予算と合わせて発注したので、入札不調がなく適正であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適正な規模であったと考えている。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目及び使途の事業目的については、予算執行伺及び工事完了検査等において確認しており、適正であったと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
令和元年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-5	亜熱帯庭園都市の公園美化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
担当部署名	都市みらい部 公園管理課	事業実施（予定）年度	平成24年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客が快適に公園利用することで沖縄観光のサービス向上につながるように、観光地周辺における旭ヶ丘公園トイレのバリアフリー化や和式便器から洋式便器への整備、首里崎山公園内植栽樹木の剪定による樹幹形成や伐採を行い、快適な公園環境の創出やイメージアップを図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		H30年度	H30年度（繰越）	R1年度	R1年度（繰越）	R2年度
		(a) 当初予算額	52,000		45,000		
		(b) 予算現額	52,000		45,000		
		(c) 増減額（b-a）	0		0		0
		(d) 繰越額	-	13,825		20,000	
		A. 計（b+d）	52,000	13,825	45,000	20,000	0
		B. 執行済額	34,115	13,825	24,986	18,843	
		うち交付金充当額	27,292	11,060	19,989	15,074	
		次年度繰越額	13,825	0	20,000	0	
		執行率（％）（B/A）	65.6%	100.0%	55.5%	94.2%	#DIV/0!
予算の状況の説明	・業務委託の首里崎山公園樹木剪定業務は完了した。 ・R1年度旭ヶ丘公園便所整備工事は一般競争入札に付したが不調になり20,000千円繰越したが工事完成した。						
活動目標（指標）及び達成状況	R1活動目標（指標）		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・便所整備工事の実施（実施場所：旭ヶ丘公園）	目 標	（ 便所整備1棟整備 ）	（ 便所整備1棟整備 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	便所整備1棟整備完了	便所整備1棟整備完了			
	・植栽剪定業務の実施（実施場所：首里崎山公園）	目 標	（ 植栽剪定業務1公園実施 ）	（ 植栽剪定業務1公園実施 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	植栽剪定業務1公園完了	植栽剪定業務1公園完了			
達成状況説明	・令和元年度首里崎山公園樹木剪定業務を完了した。 ・令和元年度旭ヶ丘公園便所整備工事を完成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R1成果目標（指標）		基準値（年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（R3年度）
	①トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、②観光地として、相応しい公園景観であると感じるか（満足度80%以上）を含め、観光客等へのアンケート調査により、本事業の在り方を検証する。	目 標	（ ）	（ 満足度80%以上 ）	（ 満足度80%以上 ）	（ ）	（ 満足度80%以上 ）
		実 績		満足度71%	未実施		
		目 標	（ ）			（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・令和元年度旭ヶ丘公園便所整備は繰越して完成した。便所整備80%完了（予定箇所総数15箇所、令和元年度までの整備累計12箇所） ・首里崎山公園の植栽剪定業務が完了した。植栽剪定81%完了（予定箇所総数11箇所、令和元年度までの整備累計9箇所） ・令和元年度事業（令和2年度繰越分）アンケート調査については、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・一般競争入札が不調になった原因として業者の技術者不足による辞退が考えられる。 ・本事業以外の工事が同時期に発注されていることも受注可能業者が少なくなる原因ではないかと考えられる。 ・新型コロナウイルスの影響でアンケート調査が実施できなかった。	・他工事と発注時期をずらすことが可能か検討する。 ・受注対象業者を増やすことが可能か検討する。 ・アンケート調査の実施方法見直しを検討する。
今後の取り組み方針		
・業者が応れしやすいよう早期発注に努めるとともに、技術者に求める資格要件の緩和および工事格付の範囲拡大を実施する。 ・インターネットを活用したアンケート調査の実施について検討する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市で選定した業者を一般競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費目、使途については、事業目的の観点から、必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-6	福州園再整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(イ)	
担当部署名	都市みらい部 公園管理課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	県内唯一の中国式庭園である福州園は、大型旅客船/パースが近くにあり外国人観光客も多く訪れる施設として期待されている。観光客を含めた福州園利用者数増加を目的として、夜間の景観演出等、各種イベント会場として使用するため施設に付加価値を付けた機能強化としての第1期工事を行う						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和4年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000	45,000			
		(b)予算現額	10,000	45,000			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額			45,000		
		A.計(b+d)	10,000	45,000	45,000	0	0
	B.執行済額		8,679	0	43,449		
	うち交付金充当額		6,943		34,759		
	次年度繰越額			45,000	0		
	執行率(%) (B/A)		86.8%	0.0%	96.6%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・工事2件を一般競争入札に付したが不調になり施工管理業務も発注できなかったことから、全額繰越することになった。 ・工事2件・監理業務委託1件を完了させた					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	福州園再整備事業第1期工事着手	目標	(実施設計の策定)	(第1期工事着手)	()	()	
		実績	実施設計の策定	工事完成			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・土木工事1件、機械設備工事1件、施工管理業務1件を完了させた						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	福州園再整備事業(第1期)の完了(工事2件、監理業務1件)	目標	()	(実施設計策)	(工事2件、監理業務1件)	()	()
		実績		実施設計策定	第1期工事完了(全体の37%)		
	【R4成果目標】利用者数:100,000人	目標	()	()	()	()	(100,000人)
		実績					
	進捗状況説明	第1期事業(工事2件、監理業務1件)を完了させた。全体の進捗としては37%完了					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・機械設備工事の一般競争入札が不調になった原因として業者の技術者不足による辞退が考えられる。	・早期発注に努めることや受注要件の緩和等対象業者を増やすことが可能か検討する。
今後の取り組み方針		
・業者が応れしやすいよう早期発注に努めるとともに、技術者に求める資格要件の緩和および工事格付の範囲拡大を実施する。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費 (千円)	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
43,449	43,449	34,759	8,690	0

```

            graph LR
                A[那覇市  
43,449千円] --> B[委託費  
957千円]
                A --> C[工事請負費  
42,492千円]
                B --> D["(株)設備研究所  
957千円"]
                C --> E["(株)東幸開発  
23,055千円"]
                C --> F["(有)スイケン  
19,437千円"]
                D --- G["平成31年度福州園再整備工事  
業務委託(監理)"]
                E --- H["平成31年度福州園再整備工事(土木)"]
                F --- I["平成31年度福州園再整備工事(機械)"]
            
```

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市で選定した業者を一般競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費目、使途については、事業目的の観点から、必要なものか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-2	新文化芸術発信拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ			
担当部署名	市民文化部 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成			
事業内容	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R3年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,356,853	0	2,986,164	0		
		(b)予算現額	1,225,298	0	2,992,540	0		
		(c)増減額(b-a)	▲ 131,555	0	6,376	0	0	
		(d)繰越額	-	676,074	0	1,326,165		
	A. 計(b+d)		1,225,298	676,074	2,992,540	1,326,165	0	
	B. 執行済額		547,395	673,226	1,664,338	1,326,165		
	うち交付金充当額		437,916	538,580	1,331,469	713,531		
	次年度繰越額		676,074		1,326,165			
	執行率(%) (B/A)		44.7%	99.6%	55.6%	100.0%	#DIV/0!	
	予算の状況の説明		用地取得が完了したことから、取得用地の外構設計のため増額変更を行った。建設工事の労務者の調整等の影響により不測の日数を要したことなどから、建設工事費及び監理に係る事業費1,326,165千円をR2年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)			達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施設本体建設工事 一式 建設工事業務委託(監理) 一式 外構追加設計業務 一式	目標	(用地取得業務 完了 施設建設工事 初年度完了 業務委託(監理) 初年度完了)	(建設工事 一式(2年目) 監理 一式(2年目) 外構追加設計 一式)	()	()		
		実績	(用地取得業務 完了 施設建設工事 初年度完了 業務委託(監理) 初年度完了)	(建設工事 一式(2年目) 監理 一式(2年目) 外構追加設計 一式)				
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	令和元年度は、建設工事の2年目であり一部繰越となったが、当該年度予定出来高を完了した。また、取得した用地の外構追加設計を完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)			基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	・施設本体建設工事 2年目完了 ・建設工事業務委託(監理) 2年目完了 ・外構追加設計業務 完了	目標	()	(用地取得 完了 建設工事 初年度完了 工事監理 初年度完了)	(建設工事 2年目完了 外構設計 完了 監理 2年目完了)	()	()	
		実績		(用地取得業務 完了 建設工事 初年度完了 工事監理 初年度完了)	(建設工事 2年目完了 監理 2年目完了 外構設計 完了)			
	【R3成果目標】 年間利用者数 延べ20万人	目標	()	()	()	()	(来館者 20万人)	
		実績						
	進捗状況説明	建設工事は、H30年度からR2年度までを予定しており、繰越となったが計画していた2年目分を完了した。また、取得した用地の外構追加設計を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・建設工事は、台風等の自然環境及び労務者の不足等の社会環境の影響を受けることから適切な進捗管理が必要。 ・取得用地の外構追加設計が完了したことで、外構の追加工事の準備が整った。今後は、速やかな契約締結が必要。	・建設工事については、現在のスケジュールでの完成を目指し、外部環境を注視し、速やかに対応するなどの適切な工程管理を行う必要がある。 ・今後、取得用地の外構工事の契約を速やかに締結し、建設工事スケジュールでの完了を目指し、適切な執行管理を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・今後は、引き続き建設工事に取り組み、適切な工程管理を行い、完成に向けて取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費 (千円)</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,990,503</td><td>2,990,503</td><td>2,045,000</td><td>945,503</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 那覇市 2,990,503千円 委託料 46,804千円 香山・久米・根路銘 設計共同体 42,421千円 香山・久米・根路銘 設計共同体 4,383千円 工事請負費 2,941,597千円 事務費 2,102千円 那覇市新文化芸術発信拠点施設 建設工事業務委託(監理) (有)香山壽夫建築研究所 株式会社久米設計 株式会社根路銘設計 那覇市新文化芸術発信拠点施設 建設工事業務委託(追加外構設計) (有)香山壽夫建築研究所 株式会社久米設計 株式会社根路銘設計 那覇市新文化芸術発信拠点施設建設 工事(建築)他7件 新文化芸術発信拠点施設 整備事業の補助事務等					総事業費 (千円)	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	2,990,503	2,990,503	2,045,000	945,503	0
総事業費 (千円)	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
2,990,503	2,990,503	2,045,000	945,503	0										
資金 使途の 流れ、 検 査 目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託業者の選定は、一般競争入札、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定による随意契約で実施しており妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、積算基準等により積算し執行しており適正であったと考えている。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途についても、仕様書に即して事業目的を達成しており適正であったと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-1	地下壕対策事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	まちなみ共創部 まちなみ整備課		事業実施 (予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和2年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	12,600		2,540	0		
		(b)予算現額	17,600		2,540	0		
		(c)増減額(b-a)	5,000	0	0	0	0	
		(d)繰越額		8,626	0	2,500		
		A. 計(b+d)	17,600	8,626	2,540	2,500	0	
	B. 執行済額		8,974	8,448	39	2,484		
	うち交付金充当額		7,179	6,758	31	1,987		
	次年度繰越額		8,626	0	2,500	0		
	執行率(%) (B/A)		51.0%	97.9%	1.5%	99.4%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		応れ者がなく不調となり、不調の結果を踏まえた設計変更の不測の日数を要したため、年度内での完了が困難となったため工事費にかかる2,500千円をR2年度に繰越した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)			達成状況				
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	地下壕対策工事(1箇所)の着手	目 標	(地下壕の埋戻の実施1箇所)	(地下壕の埋戻の実施1箇所)	()	()		
		実 績	地下壕の埋戻の実施1箇所	地下壕の埋戻の実施1箇所				
				()	()	()		
達成状況説明	・対策工事は、予定どおり1箇所の埋戻し工事を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)			基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	地下壕対策工事(1箇所)の完了	目 標	()	(1箇所)	(1箇所)	(1箇所)	()	
		実 績		1箇所	1箇所	1箇所		
	【R2成果目標】 対策を実施した地下壕での事故発生件数 0件	目 標	()	()	(0件)	(0件)	(0件)	
		実 績			0件	0件		
	進捗状況説明	・令和元年度は地下壕1箇所において対策工事を行った。これまでの埋戻等対策工事実施箇所は14箇所となった。従って事業の目的である地下壕の危険度軽減の目標は達成されるものである。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	- 地下壕の中でも自然洞窟では、当初想定していた形状と実情が異なる場合があり、実施設計時の際に行った測量等の数量が増加することがある。 - 拝所として昔から信仰の場になっているところもあり、土地所有者だけでなく、地域の利用者への事業説明等、調整に時間を要することがある。	- 地下壕の数量増等に対応するため、委託を早期に発注し、不足する追加経費が発生した場合に予算措置が可能となる期間を確保する。 - 地下壕全ての空間を埋戻してしまうのではなく、入り口から見える範囲の空間は残すなど、信仰としての場の雰囲気も保つ工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
- 費用増が生じる場合を想定し、費用増に対応する予算措置がとれるよう早期発注等を行う。 - 地下壕工事の際には、権利者への事前の説明を行うことで、安全に工事ができるようにする。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費 （千円）</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,523</td><td>2,523</td><td>2,018</td><td>505</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費 （千円）	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	2,523	2,523	2,018	505	0
総事業費 （千円）	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
2,523	2,523	2,018	505	0										
那覇市 2,523千円 使用料及び賃借料 39千円 那覇市 39千円 タクシー使用料 工事請負費 2,484千円 （株）新協建設 2,484千円 令和元年度地下壕対策埋戻等工事 （その1）														
資金 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第8号による随意契約をしており、妥当であったと考えている。 ○予算規模について、不要額は17千円であり適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものであり、適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												